

【全体概要】

<10/29(火)>

○ウズベキスタン共和国首相への表敬訪問

(対応者：アブドゥラ・ニグマトウィッチ・アリーポフ首相 ほか)

- ・ 今回の訪問目的やサマルカンド州やウズベキスタンとの今後の友好交流について意見交換。

【知事の主な発言内容】

- ・ 明日、トゥルディモフ・サマルカンド州知事と面談する際には、来年の大阪・関西万博にあわせた来日やウズベキスタンパビリオンでのイベントの共同実施を提案する予定。
- ・ サマルカンド州滞在中には、奈良県立大学とサマルカンド国立外国語大学との間で学術交流に関する協定を締結する予定。
- ・ タシケントの旅行事業者に向けて奈良の観光プロモーションを実施する予定。今後、相互のプロモーションに協力するなど、観光分野での交流の発展を期待している。

【中野議長の主な発言内容】

- ・ 今年、奈良県議会議員の間で日本・ウズベキスタン親善議員連盟を結成し、全議員の過半数の23名が参加している。私も含め、議会もウズベキスタンとの友好関係発展に貢献したいと思っている。

【首相の主な発言内容】

- ・ ウズベキスタンパビリオンでのサマルカンド州との共同イベントの実施はぜひともお願いしたい。
- ・ ウズベキスタンには歴史的な街があり、万博を通じて日本の皆さんにも紹介したいと考えている。そうしたことが観光分野の交流発展にも貢献すると思う。
- ・ ウズベキスタン政府としても地域間の交流を全面的にサポートする



(ウズベキスタン共和国首相表敬訪問)

○JICA ウズベキスタン事務所訪問（対応者：尾藤所長 ほか）

- ・ウズベキスタンの移民労働の現状やウズベキスタン人材のポテンシャル、JICA の取組等に関するブリーフィングを受け、意見交換。



（意見交換の様子）

○現地旅行事業者への奈良県プロモーション

- ・山下知事が、30 名程度の現地旅行事業者に対して、来年の大阪・関西万博を契機に、ウズベキスタンと奈良のゆかりや県内の観光スポットや宿泊施設を紹介し、奈良への誘客を呼びかけた。



（現地旅行事業者へのプロモーション）

○ウズベキスタン観光委員会委員長との会談

(対応者：ウミド・シャディーブ委員長 ほか)

- ・奈良県とウズベキスタンの観光交流について意見交換。



(ウズベキスタン観光委員長との会談)



(ミャクミャクの贈呈)

○在ウズベキスタン日本国大使への表敬訪問 (対応者：羽鳥大使 ほか)

- ・ サマルカンド州やウズベキスタンとの今後の友好交流について意見交換。



(羽鳥大使との集合写真)

<10/30(水)>

○サマルカンド州による歓迎セレモニー

- ・ サマルカンド駅での歓迎セレモニー。



(歓迎セレモニーの様子)

○サマルカンド州知事との会談

(対応者：トゥルディモフ・エルキンジョン・オクトボテヴィッチ知事 ほか)

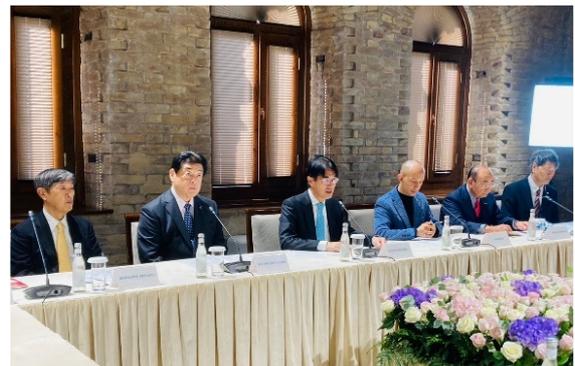
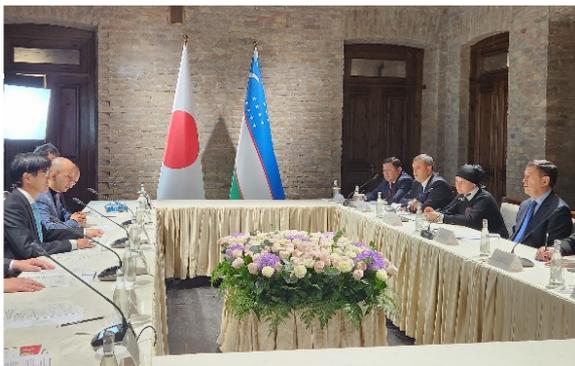
- ・ トウルディモフ・サマルカンド州知事と、今後の友好交流について意見交換。

【山下知事の主な発言内容】

- ・ 来年の大阪・関西万博にあわせ、サマルカンド州知事訪問団の来県及びウズベキスタンパビリオンでのイベント共同実施を提案。
- ・ 奈良県立大学とサマルカンド国立外国語大学との協定締結を契機に、サマルカンドの大学生や若者に奈良県へ留学に来ていただき、その後、県内企業などで働きながら技術などを身につけてもらい、ウズベキスタン帰国後には日本で習得したスキルを発揮し活躍いただきたい。
- ・ 観光面での両国間の人の往来をもっと増やしていければと考えている。

【トゥルディモフ知事の主な発言内容】

- ・ 来年の万博には私も訪問したいと思う。サマルカンド州からも万博に参画することで、世界の人々へサマルカンド州のことを知ってもらおうきっかけとしたい。
- ・ 日本へ行く人のための手続きや言語を学ぶことができる事務所をサマルカンド国立外国語大学内に開設しようと思っている。
- ・ 観光分野をはじめ、奈良県と様々な分野で協定を締結したいと考えている。



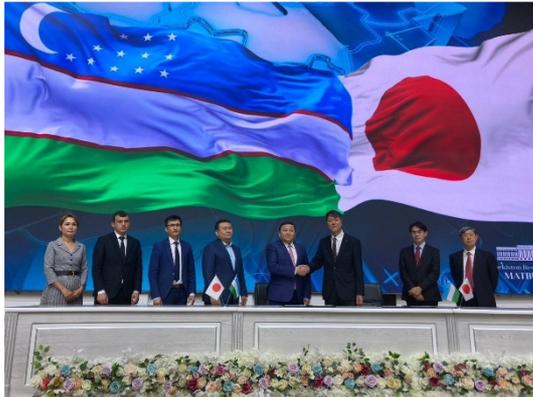
(サマルカンド州知事との会談)

<10/31 (木)>

○奈良県立大学とサマルカンド国立外国語大学との協定締結式

(対応者：ホリクロフ・バハディール・アリクロヴィッチ学長 ほか)

- ・ 両大学の学長により、学術交流に関する協定を締結。
- ・ 山下知事、中野県議会議長から日本語図書を贈呈。
- ・ 山下知事から、サマルカンド国立外国語大学の学生に向けて、ウズベキスタンと奈良のゆかりや県内の大学・企業等を紹介し、奈良での留学や就労を呼びかけた。



(協定締結式)



(学生へのプロモーション)



(日本語図書の贈呈)



<日本語図書を贈呈するに至った経緯>

- ・ サマルカンド州第8学校の担当者と実務者協議を進める中で、慢性的に日本語教育に使用する教材が不足しているとの申し出があり、また、駐日ウズベキスタン大使館からも日本語教育に資する図書を寄贈してほしい旨、依頼があったことから、今回の訪問にあわせて、日本語図書を寄贈。
- ・ 贈呈する日本語図書については、7月から8月の約2ヶ月間にわたって、県庁職員に向けて小・中学生向けと大人向けの2種類の日本語教育に資する図書の寄付を募ったところ、約350冊の寄付があった。

- サマルカンド第8学校訪問（対応者：スヤロワ・ニゴラ・トゥルスノヴナ校長 ほか）
- ・県立国際中学校と交流を行っているサマルカンド第8学校（日本の小・中学校に相当）で実施する日本語教育の様子を見学。
 - ・山下知事、西川県議会総務警察委員長から日本語図書を贈呈。



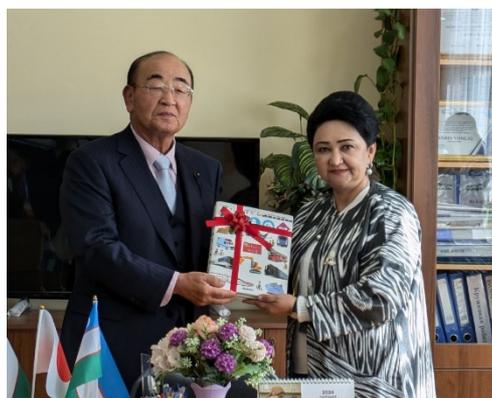
（ダンスの披露）



（授業見学の様子）



（日本語図書の贈呈）



<11/1 (金)>

○対外労働移民庁訪問（対応者：クラノフ・マトラボ副長官 ほか）

- ・ 今後の奈良県へのウズベキスタン人材の受け入れについて意見交換。



（対外労働移民庁との意見交換）



○ウズベキスタン文化財団訪問（ウズベキスタンの EXPO 担当機関）

（対応者：エルムラド・ナジモフ副会長）

- ・ 来年の大阪・関西万博でのサマルカンド州と連携したイベント実施について意見交換。



（ウズベキスタン文化財団との意見交換）



（ミヤクミヤクの贈呈）